

料金別納郵便



桑田卓郎 展

—暮らしのうつわ—

令和7年9月4日(木)~9日(火) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時（最終日9日は午後5時まで）

作家在廊日：9月4日(木)

陶歴 昭和56年 広島県福山市生まれ
平成13年 京都嵯峨芸術大学 短期大学部 美術学科 陶芸コース 卒業
平成18年 益子陶芸展 濱田庄司賞
平成21年 第17回 テーブルウェアフェスティバル グランプリ経済産業大臣賞
平成25年 「現代の名碗」菊池寛実記念 智美術館／東京
令和4年 令和3年度 日本陶磁協会賞

桑田卓郎は、素材やプロセスとの対話を通して、作品を制作している。そうでないと、「心ここにあらずになってしまう」という。例えば《梅花皮(かいらぎ)》や《点滴》といった作品は、自分かやきもののプロセスの中で感動したことを、今の自分の環境を通して素直に表現したものである。桑田の作品は、洗練された造形感覚とポップな色使いが特徴だが、陶芸でありながら既成概念に縛られず、日本的でありながらグローバルな普遍性を備えている。海外での個展が多くなる中で、桑田は新しい価値観の発見があったという。その発見から創造が生まれ、感動から共感生まれる。そこに「精神の自由」があるから、ジャンルを越えて多くの若者から支持されるのであろう。この傾向は、21世紀における新たなジャポニズムではないかと思う。裏面に掲載した《カップ》三点は、色とりどりのクラフト・カップに白釉の衣装を着せ、釉垂れの美と滲み出る色香を表現したもので、桑田卓郎のニュー・ジャポニズムである。

森 孝一（美術評論家・日本陶磁協会 常任理事）

■ 販売方法

恐れながら、本展の出品作品を抽選販売とさせていただきます。
抽選販売の詳細は、お手数ですが、弊廊 HP (→) をご覧頂ければ幸いです。



砂子ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



